

特別企画

Special Edition

インプラント治療の適応に関するトレンド —基礎教育から臨床での捉え方まで—

Trends in Oral Implant Treatment Indications
—From Basic Education to Clinical Perspectives—

企画要旨

インプラント治療は、ご存知のように広く歯科臨床の場で普及し応用されるようになり、一学問体系として立派に確立されてきました。しかしその対象となる患者さんの対象年齢が高齢化してきており、経済的な問題や基礎疾患による問題ならびに応用された患者さんの高齢化により要介護状態に陥った場合の対応については、補綴歯科学会、口腔インプラント学会、老年歯科医学会などの専門学会で、処置の適応や対応について議論が多く見られるようになってきました。

そこで今回の雑誌の特別企画として『インプラント治療の適応に関するトレンド—基礎教育から臨床での捉え方まで—』と題して、①現在での歯科大学におけるインプラント治療の教育の現状、②外国特にドイツにおけるインプラント治療の在り方、③インプラント埋入後の経年変化による骨への吸収への対応、④止むを得ず生じてしまったインプラントのトラブルやそれに対する対応について、それぞれ専門家である4名の先生に解説を頂きました。

本特別企画の内容が、皆様のインプラント治療に際しての参考になれば幸いです。

主な内容

■口腔インプラント学卒前教育の変遷
片岡 有

■ドイツにおける口腔インプラント治療とその背景
林 昌二

■ゼロボーンロスコンセプト
鈴木 仙一

■現代のインプラントトラブルの特徴とその原因について
宗像 源博